

地方都市における高齢がん患者を支援する 多職種協働体制教育プログラム

実施概要

プロジェクト・メンバー

荒尾市医師会
荒尾市立有明医療センター
荒尾市

日本癌治療学会・ファイザー公募型医学教育プロジェクト助成事業

● 背景および目的

荒尾市は人口4.9万人を有する地方都市であるが、高齢化率が36%に達し、医療・介護福祉の分野が産業の20%近くを占めるという状況であり、高齢者に対して地域で完結できるヘルスケア提供体制の構築は喫緊の課題となっている。このような状況下でも、医療・介護・福祉に従事する多職種による事例検討会や研修会が開催されており、職種を超えた顔の見える関係を基に多職種協働体制が構築されつつある。

しかし、高齢者の特殊性を理解し、施設を超えて必要な地域資源を活用できる人材や体制が欠けているのが現状である。特に、がん領域に関しては、病態の特性を理解するとともに、個々の高齢者の状況に配慮する必要がある、この課題に対応するためには新たなシステムが必要と考えられた。

そこで、高齢がん患者を支える多職種協働体制を有効的に運用するために、施設を超えて必要な調整機能を担うことのできる人材「オーガナイザー*」の育成を目的とし本教育プログラムを立ち上げた。

*地域の高齢がん患者を支えるための多職種協働体制をコーディネートすることを目的とし、本プログラムで新たに設けられた専門職。高齢の患者や家族の社会的ニーズを理解し、必要とされる地域資源を有効につなげる役割を担っていく。

● 運営体制について

実行委員は、プロジェクト・メンバー（荒尾市医師会、荒尾市民病院、荒尾市）より選任され、プロジェクト全体の企画および統括を行う。事務局をあらお臨床研究室に設置し、実行委員会の指示のもと本プロジェクトの事務業務全般を担う。プログラム委員は実行委員会により任命され、オーガナイザー育成に必要なプログラムおよび教材の作成・検証を行い、教育プログラム修了者の認定を行う。

実行委員：荒尾市医師会 中村 光成 医師
荒尾市立有明医療センター 濱口 裕光 医師
荒尾市役所 介護保険課 田上 美佳、濱口 幸

事務局 ：あらお臨床研究室 島 由香里

プログラム委員：日本赤十字熊本健康管理センター 吉田 稔 医師
熊本医療センター 腫瘍内科 境 健爾 医師

荒尾市立有明医療センター 大嶋 俊範 医師

荒尾こころの郷病院 石川 智久 医師

ふじさわクリニック 藤澤 和久 医師

荒尾市医師会 西 賢明 医師

ふみ歯科 田中 みどり 歯科医師
瀬戸薬局 瀬戸 可奈子 薬剤師
新生翠病院 小阪 勝己 社会福祉士
荒尾市立有明医療センター 宮野 由美 緩和ケア認定看護師
荒尾市地域包括支援センター 高木 大地 主任介護支援専門員

● 教育プログラムの内容

- 基礎研修会および自己学習講座（eラーニング）で構成されています。
- 基礎研修会は、講義とグループワークで構成された研修会で、全6回開催します。
- 自己学習講座は、全12項目で構成されており、eラーニング形式で受講していただきます。コンテンツ受講の詳細につきましては、4月の第1回基礎研修会開講前後にシステム管理委託会社（DOFMET）より受講者へメールにて通知いたします。

● 受講料

無料（有料となる可能性があります）

● 受講期間

毎年4月中旬 ～ 翌年3月全基礎研修会・レポート等提出終了まで

● 年間スケジュール

4月： 開講式・第1回基礎研修会
 2ヵ月に1回： 第2～6回基礎研修会
 翌3月： E-learning受講期限
 オーガナイザー認定証授与式

- 開催場所
- 基礎研修会開催場所 荒尾市立有明医療センター 講堂

- 教育プログラムの内容について
- 基礎研修会：講義とグループワーク

テーマ		グループワーク	講師
第1回	高齢者がん患者の特性・理解	なし	熊本大学病院 がんセンター 教授 野坂 生郷
第2回	高齢者機能評価(GA/CGA)の 理解・活用、療養環境の評価	GA/CGAの結果を用いた治療 ・療養計画の立案を行う	荒尾市立有明医療センター 脳神経内科 大嶋 俊範
第3回	高齢がん患者の精神的支援と コミュニケーションスキルの向上	ロールプレイを通じたコミュ ニケーションスキルの習得	くまもと森都総合病院 腫瘍内科 采田 志麻
第4回	高齢者がん患者の生活療養支援 と多職種協働体制	具体的な患者ケースを用いた 多職種連携による問題解決 のシミュレーション学習	荒尾市立有明医療センター 患者サポート・医療連携室 大倉 典賢 社会福祉士
第5回	高齢がん患者と家族や介護者の 意思決定支援(ACP)	具体的な患者ケースを用いた 意思決定支援に向けたシミュ レーション学習	荒尾市立有明医療センター がん相談支援センター 宮野 由美 緩和ケア認定看護師
第6回	高齢者療養支援に向けた荒尾地 域の取り組み	現状の課題を抽出し、今後の 改善点や新たな取り組みの案 出を行う	荒尾市立有明医療センター 濱口裕光 荒尾市医師会 中村光成

- 自己学習講座：eラーニング

テーマ	学習内容
1 高齢がん患者とフレイル	がんの基本的な知識と高齢者ががんになった場合の特徴や問題点
2 高齢者機能評価(GA/CGA)と多職種連携	高齢者機能評価の概要と多職種連携の重要性とその効果
3 緩和ケアとエンドオブライフケア 「緩和ケア概論」	緩和ケアの基本的な知識とエンドオブライフケアの重要性
4 緩和ケアとエンドオブライフケア 「全人類的苦痛と包括的アセスメント」	緩和ケアの基本的な知識とエンドオブライフケアの重要性
5 がんの痛みと評価	がん性疼痛の評価と具体的な対処方法や事例
6 がん患者のリハビリテーション	がん患者のリハビリテーションの重要性とその方法
7 栄養管理・サルコペニア対策	高齢者がん患者の栄養管理の重要性とその方法
8 コミュニケーションスキル	患者や家族、他の医療スタッフとの効果的なコミュニケーション
9 意思決定支援、精神的ケア	高齢者がん患者やその＊が抱える精神的な課題と評価、それに対する支援
10 療養場所の選択と地域連携	患者・家族の意向に沿った療養場所の選択、地域のリソースを把握し、連携方法や地域社会との連携の重要性
11 高齢がん患者の倫理的・社会的問題 「社会的苦痛の緩和ケア」	高齢者がん患者の治療における意思決定支援と倫理的な問題、それに対する対処方法
12 高齢がん患者の倫理的・社会的問題 「終末期をめぐる倫理的諸問題」	高齢者がん患者の治療における意思決定支援と倫理的な問題、それに対する対処方法

<教材出典>

テーマ1, 6, 7, 12－日本癌治療学会認定がん医療ネットワークナビゲーター

テーマ2－本プロジェクトで作成

テーマ3, 4, 5, 8, 9, 10, 11－日本緩和医療学会PEACEプロジェクト

● 認定証の交付

- 全講座を修了し、プログラム委員会による所定の審査に合格された受講者には、「オーガナイザー」の認定証が交付されます。
- 「オーガナイザー」として認定された方が所属する機関にも、育成協力機関としての認定証を発行いたします。

事務局：あらお臨床研究室 島 由香里

〒864-0004 熊本県荒尾市宮内1092-18（在宅ネットあらお内）

Tel 0968-57-9350 Fax 0968-57-9605

Email zaitaku@arao-med.or.jp